



平成29年7月1日現在

総世帯数	1,457世帯
総人口	2,678人
男	1,255人
女	1,423人

資源物の収集

北源地町会 松田 聖司

ゴミの分別って何をするの？ゴミは不要物だから可燃性の物は焼却、不燃性の物は大きく二つに分けて金属は再生、陶器ガラス類は埋立。この程度の分け方がわかりやすく楽ですよ！

でもこのようなり方で時間的経過をたどってみれば過去の様々な事が浮かんできます。

少し思い出してみますと日本の港湾の海水の汚れ、特に東京湾の海水の汚れはとも魚などが生きられるような状



況ではありませんでした。油なのか？化学物質なのか？重金属の汚れなのか？また埋め立てをみても連日、汚水の染み出し等が新聞を賑わしたものです。直接的にはあまり関係ありませんが、排ガスによるチ力チ力病、空気の汚れで目が霞む病、ノドが痛む病等々、様々な弊害があったところではなないかと思えます。

こんな苦い体験のお陰で今は東京湾の海水は魚が住めるくらいきれいになりました。空気はたまに外国からくるPM2.5以外はほとんど汚れを感じない程きれいになりました。

コストは若干多くかかって、ゴミの再生は大変意義のあることだと思えます。

私の言っているゴミの定義ですが、今は資源物の鉄類、アルミ類、布類、ダンボール、新聞雑誌、ペットボトル、瓶、蛍光灯、スプレー缶、家電製品等、その他諸々です。

ゴミの収集、再生の必要性

齢七十にして想ひごと

錦町公民館長 石井 博志

私も本年一月に齢七十歳になりました。日頃考えていることを書き述べてみたいと思ひペンをとりました。昨今、災害の多くが規模が大きくなっているように思われま

す。

少子高齢化の今の世に、町会の各役職を越えて話し合いを持ち、事前にマニュアルを作り、町会独自の行動をとれるようにすることが大事であると思考するものです。国・

を書いたつもりですが、少しでも賛同していただければうれしく、又住みやすい地域になればと思ひます。

いつまでもいつまでも守ろう第一地区環境衛生を。



県・市町村とは一寸違つ行動がとれるように町会の横の繋がりにより深くする行動をとる必要があると思われま

す。

自分がこの年齢まで生きられたということが不思議に思われ、最近では松本へ移住してからの事を振り返る事が多くなり、生まれ在所の学友達の事が思ひ出され、連絡を取る時間が多くなりました。町

会長をやっていると、老人会の役をやっていると、それぞれ立場で元気にしているとの声を聞く心がやすらぐように思ひます。若いときは

考えもしない人との出会いの

不思議さを覚えざるを得ませ

ん。

過日、第一地区町会連合会主催のマレットゴルフ大会が催されました。それまでは顔を合わしても言葉を交わす事がなかった人達とも言葉を交わせるようになり、何気なく通り過ぎてしまふ人達とも新たに出会いができ、言葉を交わせるようになりました。町

会活動の大切さを改めて認識しています。

公民館長として自分のできることを改めて良く考え、町会活動の一助となればと思考するものであります。

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

第16回 第二地区 盆踊り大会

平成29年8月12日(土) 午後6時30分から 深志神社境内にて

かき氷、わたあめ、スイカ割りなど、お楽しみもあるよ！ (無料)



昨年の盆踊り

第二地区公民館・福祉ひろば20周年記念事業

9/10 日 第7回 子ども将棋大会

◆時間 9:30～17:00 (9時開場&受付開始)

◆場所 第二地区公民館

◆参加費 無料

◆内容 2クラスに分かれての総当たり戦【低学年・高学年】各クラス1位～3位まで賞状&賞品!【全員に参加賞】今回は特別ゲスト棋士も来ます!お楽しみに!

大人専用将棋 交流スペースも! お気軽にご参加ください。

マレットゴルフ& ウォーキング大会

去る六月六日、第二地区公民館・福祉ひろば共催のマレットゴルフ&ウォーキング大会が行われました。参加者は



二十八名・場所は立科町『権現山マレットゴルフ場』。開始前にウォーキングそして準備体操を。天候にも恵まれ大いに楽しむ事が出来ました。終了後の表彰式では豪華な景品をお渡しする中、公民館・福祉ひろば開館二十周年記念の館長賞が二十位の方に渡されました。

何はともあれ健康増進にとっても良い一日となりました。



わらび狩り ウォーキング

澄み渡った青空と安曇野の田園風景を愛でつつバスはひたすら北へ。小谷村に入ると山は霧。村の方の案内で山に入ると途中から霧が晴れて、県境の峰々を見晴らす絶景が現れました。

が、高原の草むらにわらびを見つけ始めると絶景は吹き飛び、痛い足も忘れて起伏の多い広い草原を夢中で歩き回っていました。山菜尽くしの昼食と柔らか



なかけ流し温泉をいただいた後、心地良い疲れと収穫に満足して帰途につきました。

平成二十九年 公民館五部門委員

- ◎委員長 ○同副
- ◆運営委員
 - 町会連合会会長 ◎杉浦 勝
 - 副会長 ○伴 吉宏
 - 会計 横山 知充
 - 町内公民館長会長 中嶋 弘壽
 - 民生児童委員会会長 松田 妙子
 - 健康づくり推進員会長 横内 美香
 - ボランティア部会長 根本二三子
 - 日赤奉仕団团长 千田 圭子
 - 体育協会理事長 大野 幸司
 - 前町会連合会会長 関口 隆男
- ◆館報編集委員
 - ◎横山 善男
 - 井野根 修
 - 北源地 佐藤 文彦
 - 向島 深澤 弘信
 - 向島 齊藤 時子
 - 南源地 茅野美代子
 - 錦町 青柳 孝明
 - 南源地(全市版) 井上真由巳
- ◆体育委員
 - ◎横山 知充
 - 木下 眞吾
 - 長沢町 高根 基
 - 天神南小池町 前川 信俊
 - 栄町 中藤 俊夫
 - 飯田町2丁目 坪田 創平
 - 栄町 武井 一幸
 - 中条東第1 錦町 北源地
 - 梅ヶ枝町 小池町
 - 中条東第4 ○丸山 公正
 - 北源地 須澤美保子
 - 中条東第2 上條美代子
- ◆文化委員
 - ◎三村 隆彦
 - 伊藤 博敏
 - 秋山 博見
 - 筒井 完次
 - 小林 九雄
 - 竹平 隆一
 - 上條 一茂
 - 丸山 昌巳
 - 丸山 直道
 - 岩佐 仁
 - 北澤 昭
 - 茅野 幸隆
 - 大野 貴由
 - 小林寿美子
 - 石井 博志
 - 瀧沢 吉孝
 - 市川 英夫
 - 福田 守孝
 - 中野 勝由
 - 西村 好寛
 - 松宗佳代子
 - 青柳 茂
 - 横山 和美
 - 小林 寛也
 - 小林 敬司
 - 林 真
 - 林 田鶴子
 - 鴻田 益孝
 - 牛丸 一利
 - 古賀 寛
 - 小林 純子
 - 井上真由巳
 - 小笠原利恵
 - 大田美恵子

すすき川

先頃の新聞で児童虐待が過去最多になったという記事を読み、数年前に聞いた内館克人氏の講演を思い出した。それは『今、日本社会の人間が解体されている』というショッキングな内容の話であった。

毎日のように報道される新聞記事やテレビニュースで、いじめ問題・老人や障害者への虐待・性的暴力等、弱者への痛ましい無慈悲な事件が多いうちに思われる。

元来、人間社会は知・情・意のバランスの上に営まれるのが望ましいのであるが、その一角が欠けて人間性の分解がはじまったのであろう。知的教育に重きをおき、心の教育を忘れがちな今の教育社会への警鐘でもあろう。

文部科学省では来年度から使用する道徳教科書の検定を行い、内容の変更を求めたりして物議をかもしたりもした。教科書の内容も大切であるが、それを指導する先生方のモラルの方も大切である。固定化した価値観を押しつけるのではなく、児童生徒と共に学び合う姿勢で、楽しい道徳学習になるように心がけてほしいと願っている。

(横山)